



現代いをま活きる

ディジュリドゥを使い 自然との一体感を表現

ディジュリドゥプレイヤー

あぼ まこと

荒井 ABO 誠 さん (弁華別)

東京高円寺にある老舗ライブハウス「JIROKICHI」のオーナーを務める荒井さん。昨年4月に東京から当別へ移住し、オーストラリアの先住民アボリジニの民族楽器「ディジュリドゥ」を駆使してライブ活動を続けています。

ディジュリドゥ

オーストラリア先住民アボリジニの楽器で、ユーカリの木がシロアリに食われて筒状になったものを使った楽器

ディジュリドゥとの出会いや魅力は？

「JIROKICHI」をオープンして20年の節目としてオーストラリアへ長旅に出たのですが、そこで、先住民アボリジニがディジュリドゥを吹いている姿を見たことが、この楽器との出会いです。

循環呼吸を使って唇を震わせながら音を出し、重厚な低音は、大地をはって伝わってきました。その時に、この民族楽器が創り出す、自然との一体感に惹かれました。

現地で習得し、日本に戻ってからは、自分で楽器を作っています。日本には、ユーカリの木がないので代用に竹を使ったのですが日本文化を感じさせる深い音が出せました。

ライブでは、私がディジュリドゥで包み込むような音を出

し、そのなかでミュージシャンがピアノやギターを弾いて一つになる感じが理想ですね。

移住のきっかけや当別での活動は？

家族みんなで自然と調和した生活がしたいと思い、北海道への移住を決め、ニセコや新冠などを見て回りました。当別に来たときに広々とした景色を見て、すぐにここに住もうと決めました。

冬の吹雪は確かに厳しいですが、その厳しさをイメージして音ができたり、風を浴びながらディジュリドゥを吹いたり自然に合わせながら生活しています。北海道の風景は、この楽器にぴったりですね。このほかにも、学校を巡って子どもたちに音楽の楽しさを伝えられればと考えています。

なまきき とうべつ生聞音楽クラブ を立ち上げたのですね

今年4月に、当別に国内外から音楽家を呼んでまちを盛り上げようと、「とうべつ生聞音楽クラブ」を立ち上げました。約10人で活動しているのですが、みんな音楽が大好きな人ばかりです。

これからは、年に数回不定期ですが手作りのイベントを開催して札幌や江別からも人を呼び込みたいですね。

☆イベント予定☆

華乃家ケイ&風絃流し
コンサート

詳細は、7ページに掲載。

渋谷毅&小川美潮コンサート
with YIDA GUITA (イダギタ)

詳細は、9月号広報に掲載。